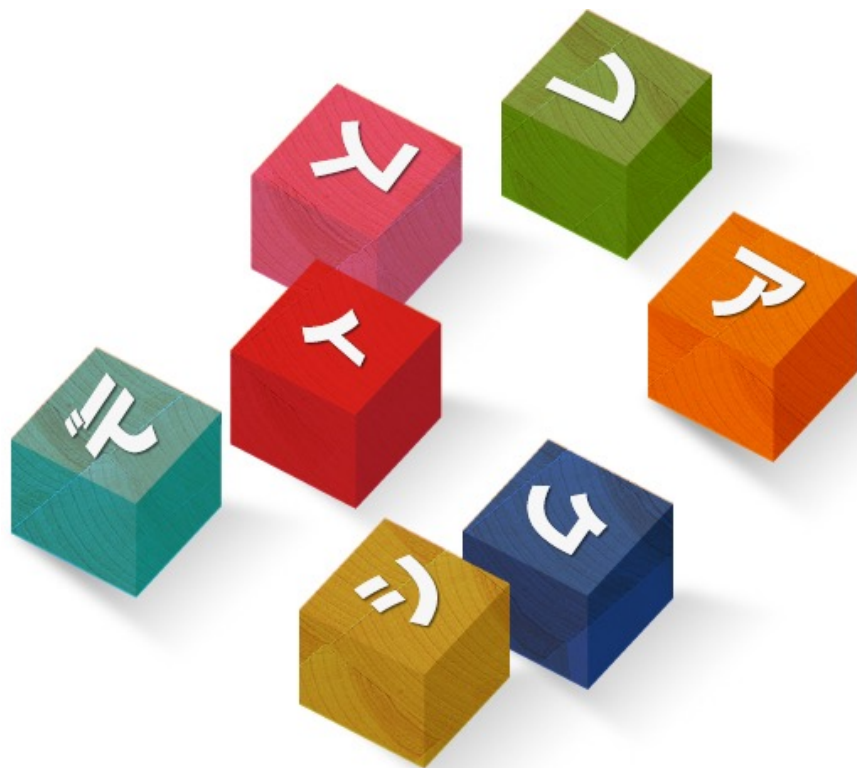


読み書きに困難がある人の アセスメント終了後説明会



ZOOM
2023年1月15日

NPO法人エッジ
藤堂栄子

読み書きが困難なディスレクシアの人たちが生き生きと暮らせる社会を目指して2001年から港区で活動しているNPOです。

NEXT EDGEの構造



こんなところが大変

文字がゆがんだり、崩れたり

漢字の意味は分かるけれど読みが追いつかない

音読すると意味が解らない

こんな困難さが

自分はバカだと思う

親や教師、上司から圧力が

やってもやっても結果が出ない

こんなことをしてみると

アセスメント

相談

検査

ディスレクシアはこんな特徴があります。

得意分野を活かして学びましょう

こんな工夫をして

ラーニングスタイル

合理的な配慮

スタディースキル

AT/ICT

得意なことを活かして

音楽、絵画

自然、計算、図形

他人に優しい

こんなにイキイキと輝ける

芸術家、建築家

俳優、料理

写真、音楽

ディスレクシアへできる対応

- 気づき⇒ 早期発見早期対応
- アセスメント ⇒ できることを伸ばして、困難なことを補完する
 - ⇒ 一人ひとりにあった読みやすい、わかりやすい教材や指導法、環境整備
 - ⇒ 合理的な配慮（調整と変更）
 - 時間延長、ICTの活用など
 - ⇒ ラーニングスタイルに合ったスキルの習得
 - タッチタイピング、マインドマッピングなど
 - 多感覚・MIを使ったアプローチ
 - ⇒ 本人のエンパワメント

ディスレクシアとは？

- 読みの困難、その結果の書きの困難
- まるっきり読めないわけではない
- 生まれつき、治らない
- 見た目わからない
- 人口の10%いる(欧米では20%も)
- **スピード、正確さと流暢さに劣る**
- 日本語<英語
- 他にも計算障害、協調性運動障害、ADHD、感覚の鈍麻・過敏

不便だが、不幸ではない

低次の読み<高次の読み

文字を読める<内容理解

文字の読み書き<語彙力、文章力

高次の読み書きに必要な能力

読解力、思考力、表現力

背景知識

アセスメント

- おおむね知的に問題がないことを見極めて、気づいた時点でアセスメントを行うことが望ましい。現時点での同年代と比べて本人がどの程度読み書きに困難さがあるのかを**読み書きのスピード、流暢性と正確さ**を測り見る。

本人の持っている力、困難な部分と程度がわかり、これに即して、具体的な支援方法や変更と調整がわかる。また、聴いた方がわかりやすいのか、ICTなどを使ったら学びやすく表現をしやすいのかの見当がつく。

読み書きの困難さを知る4つの指標



気づき

アプリ

読み書きに関する10問で困難さへの気づきが
簡単にできる

⇒ 集団アセスメント

集団アセスメントの内容

- 書き写す（スピード+正確さ）
- 黙読して内容理解、音声で聞いての内容理解
- 漢字の読み（正確さ）
- 聴写課題（正確さ）
- ひらがなの読み（スピード）

使用検査：

URAWSS II、東京都読み書きアセスメント、河野俊寛教授

アセスメントでわかること

読み書きの困難があるのかどうか

- ・音で聞いたほうが分かり易いのか
- ・読むスピード、流暢さはどの程度か
- ・読む正確さはどの程度か
- ・書くスピード、流暢さはどの程度か
- ・書く正確さはどの程度か(ひらがなのみ)

② 自分で読むより、読んでもらったり、
音声で聞く方が理解できる

エッジでは各教科書の音声教材BEAMを提供している。
問い合わせ先：

<https://www.npo-edge.jp/use-edge/beam/>

③ 支援や工夫の提案

困難のある分野への試して欲しい一般的な支援方法が
書かれている。

個人個人で有効な支援は異なるので、色々試してみて本
人にあった方法を探して欲しい

音声で聞くことを勧める

- 音に変えることはできるように見えても内容理解につながっていない場合や、読むことにエネルギーを使ってしまい、内容を理解して覚えていることが困難な可能性があります
- 文字を読む前に音声で情報を入れることなどができます

すべてが水色でも

- 問題がないということではありません
- この検査だけでは測れない部分があります
- 学年が進むと困難さが増す場合があります
- 気にかかることがあれば、学校や教育センターまたはエッジでご相談ください

アセスメントの結果でできること①

クリーム色やピンクがあったら

- 本人にあった学習方法の方向性が分かる
- 家庭や塾、家庭教師、放課後等児童デイサービスなどでできる工夫を始められる
- 学校へ相談をして、教室の中でできる指導法、支援法、教材の工夫などを始めるためのヒントがある

アセスメントの結果でできること②

ピンクがあったら

- 学校と相談を始める、すぐにできる対応を考える
- より詳しい具体的な状況を知り、「合理的な配慮」を受けるために検査・アセスメントを受けることができる
- 特別支援教室などでの対応に関しては教育センターへ相談をする

アセスメントの結果でできないこと

今回の集団アセスメントは

- 漢字の書字について項目がありません。
- 一般的な提案はできますが、個別の対応まで網羅されません。
- 合理的配慮申請にはこのままでは使用できません。



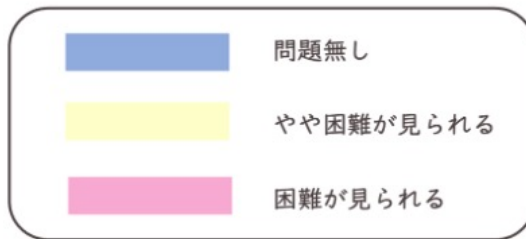
さん

《支援や工夫の提案》

さんは以下の困難が見られました。



自分で読むより、読んでもらったり、
音声で聞く方が理解ができる



【読みの工夫】

- ・音声読み上げ、デジタル教科書の使用
- ・分かち書き、行間や文字の拡大、フォントの変更
- ・カラーフィルタやスリットシートの使用
- ・ルビをふる、代読支援

文字から情報を得ることだけに頼るのではなく、自分の好きな分野で
YouTubeなどから情報を得て、情報の内容を理解する方に重きを置くよ
うにしましょう。

【書きの工夫】

この検査では問題はありませんでした。
でももし書きに関して不安なことがあれば先生に相談してみてください。



結果のイメージ

読み書き困難さの検査結果

さん

さんは以下の困難が見られました。

読みの 正確さ	読みの 流暢さ
書きの 正確さ	書きの 流暢さ

自分で読むより、読んでもらったり、
音声で聞く方が理解ができる

問題無し
やや困難が見られる
困難が見られる

《支援や工夫の提案》

③

【読みの工夫】


- ・音声読み上げ、デジタル教科書の使用
- ・分かち書き、行間や文字の拡大、フォントの変更
- ・カラーフィルタやスリットシートの使用
- ・ルビをふる、代読支援


文字から情報を得ることだけに頼るのではなく、自分の好きな分野で
YouTubeなどから情報を得て、情報の内容を理解する方に重きを置くよ
うにしましょう。

【書きの工夫】


- ・書き写す代わりに代筆、写真撮影、必要なものはプリント提供を依頼
- ・タッチタイピングでの入力や音声入力を使用
- ・漢字は選択肢から選択
- ・書きづらい漢字はひらがなで記述

文字を書くことにエネルギーを使うよりも、ICTを利用することで、
頭の中で考えたことを楽に表出できるよう色々試してみましょう。

Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

edge  EDGE
Educational Openness United Education

2022.11



① 図からわかること

以下の4項目について学年平均と比べてどの程度困難があるかを色で表示

- ・読みの正確さ:書いてある文字を正確に読めるか
- ・読みの流暢さ:書いてあるものをスラスラと読めるか
- ・書きの正確さ:字を正確に書けるか
- ・書きの流暢さ:字をすらすらと書けるか

読みの 正確さ	読みの 流暢さ
書きの 正確さ	書きの 流暢さ

RTI (response to intervention)

- 一人一人のできることや困難さに即してニーズに合った支援ができるように
- 支援をして効果があれば「合理的」
- 選択肢を増やす

例: 読み上げる、音声化、口頭試問、選択式
色のシート、フォントを変えるなど

時間延長

様々な漢字の覚え方

板書の代わりにプリント⇒聞くことに集中

ICTの活用

読みやすくする

- 紙の質、色
- 文字のフォント(UDデジタル教科書体)
- サイズ、色(色のシートなど)
- 行間、レイアウト
- 読み上げなど音声化
- ICTの活用

書くことを補う

- ひらがな、漢字の覚え方
- 筆記用具の工夫、大きめの枠など
- ノートテーカー
- 板書の工夫、写真にとる、データで渡す
- ICTの活用

ICTの活用

読む(内容理解)

- デジタル教科書
- BEAMなど音声化された教科書

書く

- 入力方法

学び方の工夫

文字からだけではなく

- 映像で
- 音で
- 体験で
- 伝える機器や道具 (AT-アシスティブテクノロジー、ICT)

スタディースキル

- タッチタイピング
 - 手元を見ずに指先の動きで打ち込む
 - 文字や綴りを想起できなくても考えている速度で文字にすることができる
 - 漢字などでは判別できればよい
- マインドマッピング
 - 考えをまとめる
 - 出来事を覚える

Q&A

結果の読み取り方

- ・ 読み書き両方にスピードは速いが、
正確さに問題が

読み書きへの具体的な支援

- 親が想定していた苦手分野とは結果が異なっていたため、正直困惑しております。そのため、読み書き困難について、具体的に支援する方法について模索したいと思います

書きの困難さへの対応

- 書きの困難さへの対応(代筆、デジタル教科書、漢字を選択肢方式にする)は今の小学校で対応できるのでしょうか?転校が必要にならないのでしょうか?

漢字の覚え、書き

- 本人は音読を苦にしておらず、むしろ音読は好きで得意と認識している。(中略)一方で、書字にはかなりの困難を感じていたため、漢字の学習は学習に工夫を施してきた。現段階で、漢字のバランスやひらがなの書き順はおかしいが、学習にはなんとかついていっている状況。このような状況と認識していたので、今回のアセスメントで、書字に問題がなく、読字の正確さに問題あり(ピンク)が出て、とても驚いている。(小2)
- 漢字を書く事にとっても困難を感じています。しかし今回の結果は「問題なし」でした。これまで漢字習得のために様々な方法を試しましたが、どれも成果が得られませんでした。港区立の中学校へ入学予定ですが、具体的な支援や配慮を求めてもよいのかどうか、今後どうしたら良いのか、さらに分からなくなっていました。支援や配慮が受けられる基準などはあるのでしょうか。教えて頂けると幸いです。(小6)
- 漢字について本検査ではきちんと出ない
- 読みの正確さに問題がある。漢字の読みが不正確

文字の覚え方

- 粘土で形を作る、ブロックやカードなどを使用する
- サンドペーパーなど質感のある紙や布に指で書く
- 下村式唱えて覚える漢字の本：書き順を言語化して覚える
- 小学全漢字おぼえるカード 学研プラス 唱えて覚える
- 十の画べえ 太郎次郎社 色のついた厚紙を配置して多感覚、視覚的に覚える
- 漢字博士 へんとつくりを合わせるゲーム

学校への働きかけ

- 読解力が弱いことや漢字(だけではありませんが特に)がなかなか覚えられないことについて、学校生活の中で先生に支援や配慮をどうお願いしていくのがいいのか？
- 本人の努力だけではどうにもならないことに直面したとき、親としてできること、学校への働きかけ等具体的な支援の情報を知っておきたい。
- 支援や工夫の提案のところは読みましたが、これを現実の学校生活とどう繋げればよいか、どのようにやっていけばよいか、具体的なことが分かりません。

港区教育委員会では

教育委員会から働きかけ:

- 各小中学校管理職、特別支援教育コーディネーターや特別支援教室巡回指導教員 等

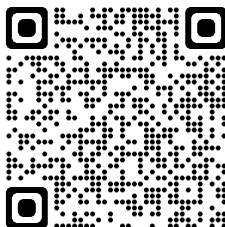
教育委員会主催研修講演の対象: 下記に該当する教員のうち、約24人

- (1) 特別支援学級の担任で特別支援教育に携わる経験年数が1~3年次の教員
- (2) 特別支援教室の担任で特別支援教育に携わる経験年数が1~3年次の教員
- (3) 難聴・言語通級指導学級の担任で特別支援教育に携わる経験年数が1~3年次の教員
- (4) 各校において特別支援教育を担う教員(3年次以上の教員は希望者のみ)

エッジの個別相談、アセスメント

<https://lp.npo-edge.jp/after-groupassess>

相談は藤堂栄子に対応させていただきます。

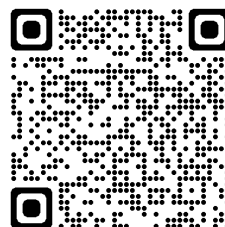


LSA(学習支援員)養成講座

<https://www.npo-edge.jp/support/lisa/>

保護者の方にも大変好評な講座です。お子様の理解が深まり、支援の方法が具体的に学べます。

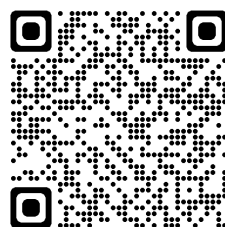
2/1から申し込みページ公開



ご支援のお願い

<https://www.npo-edge.jp/support-us/>

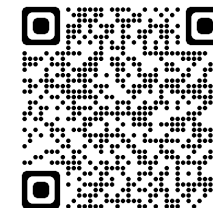
エッジのこれまでの活動は皆様のご支援、お力添えによって実施、継続をすることができました。今後も活動をより多くの方に届けられますように、皆様のご寄付をお願いいたします。



読み書き困難指導・支援講座について

<https://www.npo-edge.jp/support/yomikaki/>

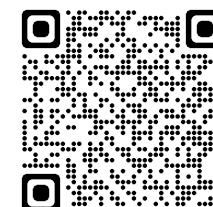
読み書きの指導・支援に特化した講座です。



読み書き困難指導・支援講座 申し込みページ

<https://npoedgemooc3.peatix.com/>

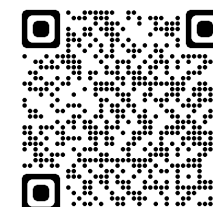
E-learning講座 申し込み受付中



ディスレクシアセミナー

<https://www.npo-edge.jp/services/dx-seminar/>

エッジで3か月に一回、2時間のオンライン講座を開催しています。



集団アセスメントは日本財団の助成事業です。

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION